

助成金について

①ひとり親家庭等への利用料助成について

依頼会員でひとり親家庭等の方は、利用料金の一部助成が受けられます。
助成金額：1ヶ月あたりの利用料金の1/2（上限1万円、交通費や食費等の実費を除く）

②援助活動における助成金

令和8年4月より、支援会員・両方会員は援助活動の時間に応じて助成が受けられます。
助成金額：預かった子の人数によらず、援助活動1時間あたり300円
1時間を超えた場合は30分単位で助成額の半額を加算。
※援助活動実績報告書兼請求書提出の際は、毎回指定口座の欄のご記入をお願いいたします。

詳しくは、
子育て支援課
ホームページを
ご覧ください。

R8年度
支援会員
研修会

地域で子育て中の方をサポートしませんか

支援会員募集!!

第2回 9月29日(火)、10月2日(金)、15日(木)、16日(金)、19日(月)、22日(木) (全6日間)

●場所：逗子市役所5階／時間：9:20～13:00 ※託児あり(無料)
10月16日(金)のみ逗子市消防本部(9:30～11:30)

- 有償ボランティア活動です。
- 依頼会員も受講して、援助活動ができる両方会員に変更することができます。
- 1回ですべての研修を受けられない場合、次回の研修と分けて受講できます。
その場合、全講座受講後の登録となります。

1講座
からでも
OK

既に登録済みの支援会員、両方会員の方も再受講できます。
子育てに役立つ話もたくさんあります。子育て中の依頼会員もぜひご参加ください。

フォローアップ研修会

【対象：支援会員・両方会員】 参加希望の方はセンター事務局までご連絡ください。
※希望があれば依頼会員も参加できます。

安全な支援活動のために ～ココロもカラダも健康に～

- 日時：12月15日(火) 9:30～11:30(受付9:20～)
- 会場：逗子市役所会議室
- 定員定員：20名

ぜひご参加ください

「乳児／小児の救急教室」

主に乳児・小児を対象にした
心肺蘇生法・止血法(実技)を学びます。

- 日時：2月25日(木) 9:30～11:30(受付9:20～)
- 会場：逗子市消防本部
- 定員：10名 ※託児あり(先着3名・無料)

こども家庭庁の通知により、支援会員・両方会員は、
救命講習の受講が必須となりました。少なくとも、5
年に1度は再受講をお願いします。

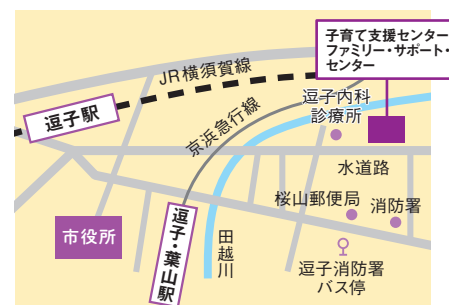
ずしファミリー・サポート・センター

〒249-0005 神奈川県逗子市桜山1-5-42
電話：046-870-3400／FAX：046-870-3411
開所時間：9～17時(月～金曜日)

〈交通のご案内〉

- JR横須賀線 逗子駅より徒歩12分
- 京急逗子線 逗子・葉山駅より徒歩10分

ずしファミリー・サポート・センター事業は、逗子市が社会福祉法人青い鳥に委託して実施しています。



ずし ファミリーサポート だより

第 25 号
2026.9



ずしファミリー・サポート・センター

ずしファミリー・サポート・センター25周年

ごあいさつ



逗子市長
桐ヶ谷 寛

ずしファミリー・サポート・センターは、今年で開設25周年を迎えます。現在、依頼会員・支援会員・両方会員を合わせて約1,700人（1,742人／R8.3末現在）の方々にご登録いただき、昨年度の活動実績は約2,300件（2,306件／R8.3末現在）になりました。長年にわたり、地域での育児に関する相互援助活動が活発に運営されていることに、心から感謝申し上げます。

人口減少をはじめとして、子育てをめぐる地域や家庭を取り巻くさまざまな環境が大きく変化している影響から、人と人とが触れ合う機会が少なくなり、子育てに不安や孤立感、あるいは負担感を抱える保護者の方々が増えてきていると感じております。

ずしファミリー・サポート・センターの活動は、住み慣れた地域で安心して子どもを育てるための重要な子育て支援事業の一つであり、令和8年度からは、支援会員への活動助成制度も始めるなど、今後もより一層の充実を期待するところです。「子育てするなら逗子」とのスローガンの下、地域で力を合わせ、子どもたちを育むまちづくりを進めるため、なにとぞ、今以上のご支援ご協力を賜りたくお願い申し上げます。



2001 (H13)	7月	ずしファミリー・サポート・センター事務局開設
	9月	第1回支援会員研修会開講（以降毎年度2回開講）
	10月	サポート活動開始
2002 (H14)	12月	「子育て支援センター」オープン 事務局移転
2011 (H23)	10月	サポート活動開始10周年
2014 (H26)	4月	ひとり親家庭助成制度開始
	7月	病児・病後児研修会開講、活動開始
	10月	フォローアップ研修会開講（以降支援会員研修会後 開講）
2016 (H28)	4月	病児・病後児預かり利用金助成制度開始
2021 (R3)	10月	サポート活動開始20周年
2024 (R6)	4月	お試し体験チケット事業開始
2026 (R8)	4月	支援会員・両方会員活動助成制度開始
	10月	サポート活動開始25周年

安心・安全な活動のために

お子さんの送迎（保育所・幼稚園・学童保育・習い事等）を含む活動の場合

依頼会員は活動前に支援会員をその施設の担当に紹介し、顔合わせをしてください。その際、施設への入退出方法や朝の準備、帰りの持ち物など必要事項の確認をお願いします。

※援助活動になりますので、利用料金がかかります。（支援会員の交通費等の実費も含む）

大好きなKさんへ

保育園にお迎えに来てくれたり、一緒にお菓子を作ったりしてくれてありがとう。Kさんは、おばあちゃんなのにとても元気ですごいです。今までずっと見守ってくれてありがとう。また一緒にお菓子を作りたいです。

Y. S (弟さん)



依頼会員
Yさん

親愛なるKさんへ

長男と遊んでいただいたり、「ただいま戻りました!」と、小さな花を手にした次男がKさんと帰ってきていたのが昨日のことに思い出されます。子どもは気分屋で体調変化も大きいので、急な依頼やキャンセルを何度もしましたが、Kさんは嫌な顔ひとつせず対応してくださり、その優しさに何度も助けられました。「私は、子どもに仕える者です」とおっしゃった言葉が今も忘れられません。その言葉には、Kさんの子どもたちへの慈しみ深さが表れているように感じました。そして実際に、Kさんはその言葉どおり、いつも子どもたちに温かく寄り添い、見守り続けてくださいました。その姿に、私は深い尊敬の念を抱いています。Kさん、10年以上にわたり私たち家族を支えてくださり、本当にありがとうございます。私にとって人生の師であり、子どもたちにとっては第三のおばあちゃんのような大切な存在です。どうかこれからもお元気で、私たち家族を見守ってください。感謝を込めて

Y. Y (ママさん)



支援会員
Kさん

20年のあゆみの中でSくんご家族と出会う

11年介護した母を見送り、時間が出来た時に友人から「ファミリーサポートの研修を受けてみない?」と誘われてサポーターになりました。あれから20年。ずいぶんたくさんのお子さんとお友達になりました。私にとっては他孫（たまご）育てでした。

Yさんご一家との出会いはとても印象深く、会うたびになんてきれいな赤ちゃんなんだろう~と思ったことを思い出しました。最初はお兄ちゃんの学童保育のお迎えサポート。やがて弟のS君を保育園に迎えに行きベビーカーで我が家まで連れて帰り、夕食を共にし、眠るS君を22時頃送り届ける活動に。

どんどん成長するS君との帰り道は楽しく、自然豊かな逗子ならではの道草。公園での木登り、潮のひいた海での磯遊び…。何事にも興味を持つS君の好奇心の芽を摘まないようにと心がけました。季節ごとに蒔の臺を取ったり（ママに天ぷらにもらったはず）桑の実取りをしたり、海岸に流れ着いたワカメを拾ったりもしました。3年続いたコロナ禍の時に写真を提出することになり、ママに写真を撮っていただいたのですが、マスクを外した私の顔を見て大笑いしたS君。

ファミサポ預かりを通してたくさんのお子さん達から元気を貰い、子育て中のパパ・ママ達のお手伝いが少しは出来たのでしょうか?



Sくん

支援会員Kさん

年の差
70歳ね!